

授業改善推進中期プラン 国語〔中学校第1～3学年〕

昭島市立 瑞雲 中学校

学年等		項目	内容
令和6年度 第1学年	令和6年10月	学習に関する生徒の実態・課題	○大半の生徒は授業に向かう態度を整え、課題に集中して取り組むことができている。 ▲一部、集中できず話したり離席する生徒がいる。忘れ物をする生徒も多い。漢字や作文など書くことに関しての課題がある生徒が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・課題に対して集中し、意欲的に取り組む力。 ・思考を表現する力。 ・情報を整理し、論理立てて説明する力。 ・基本的な漢字の書き取りの力
		具体的な授業改善の方策	・個人の時間とペアもしくはグループの時間をうまく配置しメリハリのある授業を行う。 ・作文やスライドなど様々な方法で思考を視覚化し表現する練習を行う。 ・情報の整理の方法をいくつか紹介し、生徒自身にあった方法を探す時間を設ける。 ・授業の冒頭5分間の漢字練習・テストを行う。
	年度末	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題	
令和7年度 第2学年	令和7年10月	学習に関する生徒の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題	
令和8年度 第3学年	令和8年10月	学習に関する生徒の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	中学校3年間のまとめ	

授業改善推進中期プラン 数学〔中学校第1～3学年〕

昭島市立瑞雲中学校

学年等	項目	内容
令和6年度 第1学年	学習に関する生徒の実態・課題	○意欲的に取り組める生徒が多い。 ▲全体を通して、基礎的な学力が身につけていない。基礎クラスを中心に授業に臨む姿勢が、できていない生徒が多い。提出物の提出率が悪い。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・課題に対して、意欲的に取り組む力。 ・諦めずに、最後まで取り組む姿勢。 ・規則性、法則を見つけ出し、それを積極的に活用する力。 ・できなかった問題をできるまで悩み、繰り返しチャレンジする力。
	具体的な授業改善の方策	・授業の始めに既習事項の確認を行い、授業が理解しやすいように配慮すると共に、授業の中でも常に復習を取り入れていく。 ・宿題を計画的に取り組ませ、既習事項の確認と家庭学習の定着を図る。 ・生徒の状況を把握し、生徒の力量に応じて課題の適正化を図る。 ・少人数クラスによる、生徒の状況に合ったよりきめ細やかな指導の実施。
	年度末	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題
令和7年度 第2学年	学習に関する生徒の実態・課題	
	教科で身に付けさせたい資質・能力	
	具体的な授業改善の方策	
	年度末	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題
令和8年度 第3学年	学習に関する生徒の実態・課題	
	教科で身に付けさせたい資質・能力	
	具体的な授業改善の方策	
	年度末	中学校3年間のまとめ

授業改善推進中期プラン 国語〔中学校第1～3学年〕

昭島市立 瑞雲 中学校

学年等		項目	内容
令和5年度 第1学年	令和5年10月	学習に関する生徒の実態・課題	○大半の生徒は授業に向かう態度を整え、課題に集中して取り組むことができている。 ▲一部、集中できず話したり離席する生徒がいる。忘れ物をする生徒も多い。漢字や作文など書くことに関しての課題がある生徒が多い。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・課題に対して集中し、意欲的に取り組む力。 ・思考を表現する力。 ・情報を整理し、論理立てて説明する力。 ・基本的な漢字の書き取りの力
		具体的な授業改善の方策	・個人の時間とペアもしくはグループの時間をうまく配置しメリハリのある授業を行う。 ・作文やスライドなど様々な方法で思考を視覚化し表現する練習を行う。 ・情報の整理の方法をいくつか紹介し、生徒自身にあった方法を探す時間を設ける。 ・授業の冒頭5分間の漢字練習・テストを行う。
	年度末	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題	○授業に向かう姿勢を作ることができた。 ○考えていることを様々なツールを用いて表現し伝え合うことができた。 ▲基本的な漢字の力が身につけていない生徒が多い。 ▲情報を整理することはできるが論理立てて説明することが難しかった。 ▲物語文での明確に書かれていない心情を読み取ることが難しかった。
令和6年度 第2学年	令和6年10月	学習に関する生徒の実態・課題	○授業の流れを理解することができている。 ○課題に対して取り組もうとする姿勢ができている。 ▲自ら課題を探すことが苦手。 ▲漢字の読み書きが苦手な生徒がいる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	・漢字の読み書きの力を定着させること。 ・文章に対して自ら課題を作る力。 ・根拠を明確にして考え、考えたことを表現する力。
		具体的な授業改善の方策	・毎回の授業での漢字の練習。 ・初発の感想とその共有を行い文章に興味を持つようにする。 ・考えたこととその根拠を整理し、まとめる活動。
	年度末	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題	
令和7年度 第3学年	令和6年10月	学習に関する生徒の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	中学校3年間のまとめ	

授業改善推進中期プラン 数学〔中学校第1～3学年〕

昭島市立瑞雲中学校

学年等	項目	内 容
令和 5 年度 第 1 学 年	令和 5 年 10 月	<p>学習に関する生徒の実態・課題</p> <p>○基本的に落ち着いて授業に取り組めていて、素直な、聞く姿勢はある。 ▲基礎クラスでは、宿題や課題の取組に対して、意欲的にできない生徒もいる。忘れ物をして気にならない生徒が多く、家庭学習の習慣化が定着していない。小学校の内容の積み上げができていない生徒がいる。</p>
	令和 5 年 10 月	<p>教科で身に付けさせたい資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、意欲的に取り組む力。 ・諦めずに、最後まで取り組む姿勢。 ・できなかった問題をできるまで悩み、繰り返しチャレンジする力。 ・規則性、法則を見つけ出し、それを積極的に活用する力。
	令和 5 年 10 月	<p>具体的な授業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題を毎日計画的に取り組ませ、既習事項の確認と家庭学習の定着を図る。 ・授業の始めに既習事項の確認を行い、授業が理解しやすいように配慮すると共に、授業の中でも常に復習を取り入れていく。 ・生徒の状況を把握し、生徒の力量に応じて課題の適正化を図る。 ・少人数クラスによる、生徒の状況に合ったよりきめ細やかな指導の実施。
	年度末	<p>第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題</p> <p>○基本的に落ち着いて授業に取り組んでいる。 ○提出物など、課題に対しての意識が改善されてきた生徒が多い。 ▲基礎クラスでは、宿題や課題の取組に対して、意欲的にできない生徒もいる。忘れ物をして気にならない生徒が多く、家庭学習の習慣化が定着していない。</p>
令和 6 年度 第 2 学 年	令和 6 年 10 月	<p>学習に関する生徒の実態・課題</p> <p>○基本的に落ち着いて授業に取り組んでいる。聞く姿勢はできている。 ▲基礎クラスでは、基本的な計算に苦勞する生徒もいる。その結果、意欲が低くなってしまっている。忘れ物を気にしない生徒もあり、家庭学習が定着していない。</p>
	令和 6 年 10 月	<p>教科で身に付けさせたい資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題へあきらめずに取り組む力。 ・課題に対して自分なりに取り組む力。 ・協働して課題に取り組む力。 ・既習事項を積み上げて応用する力。
	令和 6 年 10 月	<p>具体的な授業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題を計画的に取り組ませることで、既習事項の定着と家庭学習の習慣化を図る。 ・授業で適宜既習事項の復習を行い、授業が理解しやすいように工夫する。 ・生徒の状況に応じて、課題の難易度を調整して授業に取り組ませる。(スモールステップ化) ・習熟度別少人数授業によるきめ細やかな指導。
	年度末	<p>第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題</p>
令和 7 年度 第 3 学 年	令和 7 年 10 月	<p>学習に関する生徒の実態・課題</p>
	令和 7 年 10 月	<p>教科で身に付けさせたい資質・能力</p>
	令和 7 年 10 月	<p>具体的な授業改善の方策</p>
	年度末	<p>中学校3年間のまとめ</p>

授業改善推進中期プラン 国語〔中学校第1～3学年〕

昭島市立 瑞雲 中学校

学年等		項目	内容
令和4年度 第1学年	令和4年10月	学習に関する生徒の実態・課題	○音読やワークシートの記述など、どの活動にも前向きに一生懸命取り組む生徒が多い。 ▲文章の構成やその場に適した言葉遣いに関する知識が十分でないため、分かりやすい作文を書くことに課題がある。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	①国語力の基礎基本となる漢字・語句・文法に関する知識 ②適切な言葉遣いや分かりやすい構成ができる文章力
		具体的な授業改善の方策	①漢字練習ノートを毎時間5分ずつ取り組ませ、週1回確認テストを行うことで定着度を高める。語句・文法は、文章中の語句の意味を確認したり、文法事項の演習をしたりすることで理解を深める。 ②200字程度の短い作文から取り組ませることで、作文への抵抗感を減らす。構成は型を示し、それにしたがって自分の意見を述べる練習を行う。
	年度末	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題	○漢字の読み書きや基本的な文法事項をおおむね習得することができた。 ○問題を理解して適切な形式で答える力が高まった。 ▲文章例がない状態で自力で文章を書くことが難しい生徒が多いのが課題である。
令和5年度 第2学年	令和5年10月	学習に関する生徒の実態・課題	○漢字練習やワークシートの記述、少人数の話し合い活動など、どの活動にも前向きに一生懸命取り組む生徒が多い。 ▲文章の構成やその場に適した言葉遣いに関する知識が十分でないため、分かりやすい作文を書くことに課題がある。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	①国語力の基礎基本となる漢字・語句・文法に関する知識。 ②主体的に話し合いに参加する態度。 ③適切な言葉遣いや分かりやすい構成ができる文章力。
		具体的な授業改善の方策	①漢字練習ノートを毎時間10分ずつ取り組ませ、3回に1回、確認小テストを行うことで定着度を高める。語句・文法は、文章中の語句の意味を確認したり、文法事項の演習をしたりすることで理解を深める。 ②200字程度の短い作文から取り組ませることで、作文への抵抗感を減らす。構成は型を示し、それにしたがって自分の意見を述べる練習を行う。
	年度末	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題	○継続的な学習を通して基本的な漢字の読み書きの力を身につけることができた。 ○基本的な文法事項をおおむね習得することができた。 ○少人数での話し合い活動を通して、さまざまな意見や考えを共有することができた。 ▲個別の支援が必要な生徒への対応が課題である。
令和6年度 第3学年	令和6年10月	学習に関する生徒の実態・課題	○漢字練習やワークシートの記述、少人数の話し合い活動など、どの活動にも前向きに一生懸命取り組む生徒が多い。その反面、知識を習得する授業では、受け身の姿勢になる生徒も見られる。 ▲文章の構成やその場に適した言葉遣いに関する知識が十分でないため、「型」をおさえ、分かりやすい作文を書かせたい。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	①国語力の基礎基本となる漢字・語句・文法に関する知識。 ②主体的に話し合いに参加する態度。 ③適切な言葉遣いや分かりやすい構成ができる文章力。 ④生涯にわたり、母語である国語を大切にする姿勢。
		具体的な授業改善の方策	①基礎・基本の徹底。 ②少人数での話し合い活動をとおして、あらたな気づきや考えを深める活動。 ③新聞などを用い、現在社会で起きていることと、国語科の授業をリンクさせる。
	年度末	中学校3年間のまとめ	

授業改善推進中期プラン 数学〔中学校第1～3学年〕

昭島市立瑞雲中学校

学年等	項目	内容
令和4年度 第1学年	学習に関する生徒の実態・課題	○生徒は落ち着いていて、真面目に授業に取り組む生徒が多い。 ▲基礎クラスでは、宿題や課題の取組に対して、意欲的にできない生徒もいる。忘れ物をしていても気にならない生徒もいる。基礎学力の定着が不十分な生徒の家庭学習の習慣化が定着していない。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・課題に対して、意欲的に取り組む力。 ・諦めずに、最後まで取り組む姿勢。 ・規則性、法則を見つけ出し、それを積極的に活用する力。 ・できなかった問題をできるまで悩み、繰り返しチャレンジする力。
	具体的な授業改善の方策	・授業の始めに既習事項の確認を行い、授業が理解しやすいように配慮すると共に、授業の中でも常に復習を取り入れていく。 ・宿題を計画的に取り組ませ、既習事項の確認と家庭学習の定着を図る。 ・生徒の状況を把握し、生徒の力量に応じて課題の適正化を図る。 ・少人数クラスによる、生徒の状況に合ったよりきめ細やかな指導の実施。
	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題	○授業規律や提出物への働きかけなどはできた。 ▲基礎学力の定着が不十分な生徒の家庭学習の習慣化が未だに定着していないことが課題である。
令和5年度 第2学年	学習に関する生徒の実態・課題	○発展クラスの生徒は落ち着いていて、真面目に授業に取り組む生徒が多い。 ▲標準クラスでは、宿題や課題の取組に対して、意欲的にできない生徒もいる。忘れ物をしていても気にならない生徒もいる。それまでに習った事柄などの定着度が悪い生徒が自ら復習して出来るようになる学習能力がない。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・課題に対して、意欲的に取り組む力。 ・諦めずに、最後まで取り組む姿勢。 ・規則性、法則を見つけ出し、それを積極的に活用する力。 ・できなかった問題をできるまで悩み、繰り返しチャレンジする力。
	具体的な授業改善の方策	・授業の始めに既習事項の確認を行い、授業が理解しやすいように配慮すると共に、授業の中でも常に復習(場合によってはかなり前に習った事柄の復習)を取り入れていく。 ・ワークの学習などを丁寧に、計画的に次につなげるような力を付けさせていく。 ・生徒の状況を把握し、生徒の力量に応じて課題の適正化を図る。 ・少人数クラスによる、生徒の状況に合ったよりきめ細やかな指導の実施。
	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題	○定期考査では、狭い範囲ではなく、それまでに習った範囲の問題を出題するようにした結果、全体的には生徒が計算や作図なども継続して学習し、最後の考査は継続した学習の結果がでていた。 ▲標準クラスでは、宿題や課題の取組み方に問題がある生徒が多い。忘れ物をしたときも授業の席に申し出ておかない生徒が多い。
令和6年度 第3学年	学習に関する生徒の実態・課題	○全体的に落ち着いていて、真面目に授業に取り組む生徒が多い。 ○3年生になり、宿題や課題への取組は改善している。 ▲基礎クラスでは、宿題や課題の取組に対して、意欲的にできない生徒もいる。基礎学力の定着が不十分な生徒の家庭学習の習慣化が定着していない。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	・課題に対して、意欲的に取り組む力。 ・諦めずに、最後まで取り組む姿勢。 ・規則性、法則を見つけ出し、それを積極的に活用する力。 ・できなかった問題をできるまで悩み、繰り返しチャレンジする力。
	具体的な授業改善の方策	・授業の始めに既習事項の確認を行い、授業が理解しやすいように配慮すると共に、授業の中でも常に復習を取り入れていく。 ・宿題を計画的に取り組ませ、既習事項の確認と家庭学習の定着を図る。 ・生徒の状況を把握し、生徒の力量に応じて課題の適正化を図る。 ・少人数クラスによる、生徒の状況に合ったよりきめ細やかな指導の実施。
	年度末	中学校3年間のまとめ